## 弥彦村農業委員会 **農業委員**候補者(団体による推薦)の状況

R5.3.3時点(延長中間)版

R5.3.3時点(延長中間)版 被推薦者(推薦を受ける人)							ti 薦 者								
No.	氏名	性年別齢	職業	年月日	経 歴 職名・役職名等	- 農業経営の状況	認定農業者等の状 況	名称	代表者又は管 理人の氏名		構成員の 人数	構成員の資格・ 要件	推薦理由	農地利用最 適化推進委 員への推薦	他の推薦者及び推薦団体
1	丸山 哲也	男 64	農業	昭和52年 平成26年 平成27年 平成29年7月	就農 井田農家組合長 弥彦村野菜部会長 農業委員(2期目)	自作地 田 2.9ha 畑 0.2ha 借入地 田 0.5ha 作目 水稲 2.4ha 枝豆 0.4ha 他野菜 0.4ha	認定農業者(個人)	井田農家組合	渡辺 義文	井田地区の農地を 保全し、農業用水路、 排水路を管理維持す る等の、地域の農業 生産振興のために活 動することを目的とす る。	67	井田地区に農地 を有する者	専業農家として水稲、弥彦むすめ、ブロッコリーなどを長年栽培しており、地域の農業者の目標となる人である。また、村内の耕地や農道、用排水路に関しての知識も豊富であり、地域農業の実態を十分に把握している。農業問題に対する意識が強く、地域から信頼される人物であり、農業委員に適任であると確信していることから推薦する。		井田区長 荒川 昭三
2	諸橋 一彦	男 58	農業	平成24年4月 平成27年1月 平成29年7月 平成30年4月 令和2年1月	就農 弥彦村環境衛生委員就任 弥彦村農業委員就任 弥彦村交通指導員就任 大戸農家組合副組合長就任	自作地 田 1.3ha 畑 0.2ha 借入地 田 4.6ha 作目 水稲 5.0ha	認定農業者(個人)	大戸農家組合	石川 和典	地域農家の農業生産 について協議をはかる ことにより、組合員の 効率的農業経営を図 り、組合員の利益を増 進する。	30	の耕作の権利を 有すること	当集落は担い手2農家と1法人で営農を行っており、諸橋氏はその中でも一番若い担い手である。地域の水田の集積・集約の話し合いに積極的に加わり、他の集落にはない当集落の基盤を作った一人であり、今後活躍が期待されることから推薦する。	有	個人としても応募有
3	柄澤 佳彦	男 68	農業	平成23年11月 平成28年	農事組合法人上泉生産組合理事就任 上泉農家組合長(3期目)	(上泉生産組合) 借入地 田 42.2ha 作目 水稲 38ha	認定農業者(法人)	弥彦走出土地改良組合 他3 大字、農家組合、 法人		地域農家の農地を守り、農業生産について協議を図ることにより、組合員の効率的かつ安定的な農業経営を図り、組合員の利益を増進する。		地区内農地の耕 作の権利を有す ること	農家組合長を長くやっており、地域の農地に精通している。	無	上泉地区 上泉農家組合 農事組合法人 上泉生産組合
4	安達 具視	男 68	農業	昭和59年4月 平成20年1月 令和2年1月 令和2年4月 令和2年7月	就農 矢作農家組合会計係就任 矢作農家組合副組合長就任 コミュニティきらめき代表 農業委員	自作地 田 1.7ha 畑 0.1ha 借入地 田 0.8ha 作目 水稲 2.4ha 果樹 0.6ha 野菜 0.7ha	認定農業者(個人)	矢作農家組合	竹野 正義	地域農家の農業生産について協議を行い、組合員の効率的かつ安定的な農業経営を図り、組合員の利益を増進する。	90	・地区内農地の 耕作の権利を有 すること ・地域内住民の 安定、安全、融和 など相互援助を 行うこと	矢作農家組合の会計係・副組合長を計11年務め、矢作 集落の農業振興や組合員の相互援助ならびに農家の暮らし向上のため、農業関係事業に献身的に努力されてきた。 令和2年、各役職に就任以来、後継者問題・農地集積など課題が山積みするなかで、地域の人たちから信望も厚く、活発な活動を行ってきているので、これからも弥彦村農業委員で持ち前の誠実さと実行力を発揮され、弥彦村の農業振興に寄与されることを確信するため、農業委員に推薦する。	無	
5	石川 淳子	女 66	農業	昭和51年 平成26年8月 令和2年7月 令和3年4月	就農 弥彦中学校職業体験受入れ モンゴルからの留学生の受入れ 他県農業研修生(弥彦村移住前提)の 受入れ	自作地 田 10ha 畑 7ha 作目 枝豆 2ha ぶどう 7a アレッタ 3a		JA女性部 弥彦地区	鈴木 圭子	JA運動の発展を図る とともに、女性の立場 から地域農業の振興 と快適な地域づくりに 努めることを目的とす る。		女性で、この組織	地域農業や農家情報に精通しており、女性部活動、弥彦中学校への協力、モンゴル留学生の受入れなど、近年は農業研修生の受入れもし、日頃より頑張っている方であるので、地域の信任も厚く、責任感もあり、農業委員として最適であると考えるため推薦する。	有	